

## 浜松市における無形民俗文化財「祭り・神事・行事」の データベース化と継承状況の調査

### A Database of Intangible Folk Cultural Properties "Festivals, Shrines and Events" in Hamamatsu City and a Survey of Succession Situation

杉山岳弘<sup>1</sup>, 戸田剛<sup>2</sup>, 太田好治<sup>3</sup>

Takahiro Sugiyama<sup>1</sup>, Tsuyoshi Toda<sup>2</sup>, Yoshiharu Ohta<sup>3</sup>

1) 静岡大学情報学部, 静岡県浜松市中区城北 3-5-1

2,3) 浜松市市民部文化財課, 浜松市中区元城町 103 番地の 2

1) Shizuoka University, 3-5-1, Johoku, Nakaku, Hamamatsu, Shizuoka

2,3) Hamamatsu city hall, 103-2, Motoshiro-cho, Nakaku, Hamamatsu, Shizuoka

**概要:** 浜松市には、国・県・市に指定された無形民俗文化財を含め、古くから伝わる「祭り・神事・行事」が 300 件以上ある。研究室では浜松市と協同で、2014 年から祭りについて情報収集を実施し、その成果として、2017 年にお祭りの Web データベースを構築して公開した。また、情報収集時に、主催者に対して継承状況の調査を実施した。本稿では、無形民俗文化財のデータベース化の過程と継承状況の調査結果について報告する。

**Abstract:** In Hamamatsu City, there are more than 300 traditional festivals and shrine rituals, including the intangible folklore cultural asset specified by nation, prefecture and city. Our laboratory has worked in collaboration with Hamamatsu City and gathered the information of festivals since 2014. As a result, we released the web database of 2017's festivals that we constructed. Besides, when gathering the information, we conducted the survey of succession condition against the organizer. In this paper, we will report the survey results which is about the database establishment process of the intangible folklore cultural asset and the succession condition.

**キーワード:** 浜松市、無形民俗文化財、データベース、継承

**Keywords:** Hamamatsu-city, intangible folk cultural properties, database, succession situation

#### 1. はじめに

浜松市では、「祭り」としての行事が、365 日を通じて 300 件以上も開催されている。ここまでの祭りの伝統が市民により継承されてきたことは、誇るべきことであり、今後も継承していくべき貴重な地域文化である。この重要さは、浜松市の条例である「浜松市民俗芸能の継承及び振興に関する条例」(平成 28 年 3 月 24 日制定)に現れており、市の条例として、民俗芸能を継承・振興していくことを定めている[1]。

これらの祭りは時代とともに変化し、行事が簡略・省略されたり、場合によっては、継承が困難で消滅したり、消滅の危機にあつたりする祭りもある。まずは、現状を調査・把握し、継承に必要となる祭りの情報を収集して記録していくことが急務である。

きっかけは、浜松市市民部文化財課からの提案で、平成 26 年度の静岡大学情報学部の地域連携の取り組みの一環で「浜松おまつり暦」(Web カレンダー)を

制作[2]してからはじまる。これがもととなり、平成 27 年度に静岡大学イノベーション社会連携推進機構「平成 27 年度地域連携応援プロジェクト」に採択、平成 28 年度・平成 29 年度に浜松市「みんなのはままつ創造プロジェクト」に採択され、継続して浜松市の「祭り」に関する調査を実施してきている。特に、平成 28 年度の調査では、浜松地域の全点調査を目標に、浜松市市民部文化財課と連携し、各所の地域協働センターと協力体制を作り、祭りの基本情報の(改めての)収集と継承状況の調査を実施した。この成果をもとに、「浜松お祭りアーカイブ」を公開した[3]。

本報告は、平成 26 年度から平成 29 年度にかけて行った、浜松市におけるお祭りのデータベースの構築と継承状況に関する調査についての報告である。なお、以後、祭り・神事・伝統行事について、特に指定がない場合は、祭り、で表すものとする。

## 2. 浜松市における伝統行事などの現状

約 20 年前の平成 17 年、浜松市で大規模な合併が行われた(表1)。その際に浜松市内全域に存在する祭りや行事を把握するため、市が各自治体に対し調査を行った。結果、当時、286 件の祭りや行事が確認された。表 2 は、平成 28 年度の調査をする段階で確認されていた各区毎の祭りや行事の数である。特に中山間地域や山間部においては、古くから伝統行事が継承されてきており 200 件以上もの祭りが存在している。

表1. 浜松市における平成の合併状況

旧市町村名	合併後の区割り	合併前の所属	備考
浜松市	中区,北区,西区,東区,南区	静岡県	
浜北市	浜北区	静岡県	中山間
天竜市	天竜区	静岡県	山間部
舞阪町	西区	静岡県浜名郡	
雄踏町	西区	静岡県浜名郡	
細江町	北区	静岡県引佐郡	中山間
引佐町	北区	静岡県引佐郡	中山間
三ヶ日町	北区	静岡県引佐郡	中山間
春野町	天竜区	静岡県周智郡	山間部
佐久間町	天竜区	静岡県磐田郡	山間部
水窪町	天竜区	静岡県磐田郡	山間部
龍山村	天竜区	静岡県磐田郡	山間部

表 2. 区毎の祭りの確認数(平成 28 年 4 月現在)

区	祭りの数(件)
中区	11
東区	19
西区	41
南区	15
北区	63
浜北区	37
天竜区	176

※合計 362 件

また、合併される中で、継承に関する問題も見え始めてきている。小中学校の統廃合によって、祭りの重要な担い手である子育て世代が都市部に引っ越し、特に山間部においては継承の危機感が高まってきている[4]。表 3 は浜松市における、国・県・市から指定を受けている文化財の一覧である。特に、国や県から指定された文化財は、中山間部・山間部に多くある。さらに、多くの祭りは村人のためであるが、高齢化のため参加することが難しくなり参加者の減少も問題となる。誰も見に来ない状況になれば、主催者にとってもやる意味を見出すことが困難になり、やめる理由となり

得る。神事については、村人のためというより、神に捧げるものであるため必ずしもやめる理由とはならない。

表 3. 無形民俗の文化財指定(浜松市)

文化財名称	地区	指定の種類
寺野のひよんどり	北区引佐町	国指定
川名のひよんどり	北区引佐町	国指定
懐山のおくない	天竜区懐山	国指定
西浦の田楽	天竜区水窪町	国指定
呉松の大念仏	西区呉松町	県指定
滝沢の放歌踊	北区滝沢町	県指定
横尾歌舞伎	北区引佐町	県指定
川合花の舞	天竜区佐久間町	県指定
西浦の念仏踊	天竜区水窪町	県指定
遠州大念仏	中区鹿谷町	市指定
妙功庵観音堂の百万遍念仏と念仏講	北区細江町	市指定
犬居つなん曳	天竜区春野町	市指定
勝坂神楽	天竜区春野町	市指定
滝沢のシノウチ行事	北区滝沢町	国選択
今田花の舞	天竜区佐久間町	県選択
東久留女木の万歳楽	北区引佐町	市認定
雄踏歌舞伎「万人講」	西区雄踏町	市認定
浦川歌舞伎	天竜区佐久間町	市認定
有玉神社の流鏝馬神事	東区有玉南町	市認定
息神社の田遊祭	西区雄踏町	市認定

## 3. 浜松おまつり暦の取り組み

本プロジェクトは、平成 26 年 10 月から平成 27 年 3 月末までに実施されたプロジェクトで、浜松市の祭りに関するデータを収集し、Web カレンダー形式で、Web データベースを構築して、公開した[5,6]。静岡大学情報学部の当研究室 3 年生 6 名と浜松市市民部文化財課が連携して、実施した。

このプロジェクトでは、伝統的な祭りだけにこだわらず、広く行事として行われているイベントについても収集し(ただし音楽関連を除く)、最終的に 525 件収集した(文化財課から提供を受けた 286 件と学生が収集した 239 件)。ほとんどのデータは資料調査をもとに収集した。

これらのデータを元に、データベースの設計を行い、Web カレンダーを実装し、公開している[2]。Web カレンダーのキャプチャ画面を図 1 に掲載する。基本的にカレンダー形式で月毎にその月に開催される祭りが表示される仕様である。また、祭りの矩形を選択すると、祭りの詳細ページを見ることができる。詳細ページでは、名称・住所・日時・地図・概要・写真など基本情報に加え、主催者・開催状況なども閲覧することができる。

## データベースの設計

本システムの全体の ER 図を報告書最後の図 12 に掲載する。データベースの設計において、祭りの開催日を記述する日付のデータは重要となってくる。祭りの開催については、古くは旧暦の月によって決められており、今でも西浦の田楽や舞阪大太鼓祭りなどでは、旧暦を守って開催している。近年ではなかなか職場を休むことができず、ある月の第何土曜日や、最終土曜日、下旬の日曜日といった決め方をしている祭りもある。また、川名のひよんどりなど現在の暦で 1 月 4 日と固定している祭りもある。このように開催日の決め方は様々である。

本プロジェクトでは、日付の設計において、以下のよう

- ・固定日付: 開催日が固定な祭り
- ・変動日付: 第何〇曜日、最後の〇曜日、最初の〇曜日、といった変動だが曜日で確定できる祭り
- ・その他日付: 上記以外の祭り、旧暦開催の祭り、下旬の〇曜日といった祭り、不定期の祭り

Web カレンダーとしては、その年の開催日を表示できることが望ましいが、実質的に毎年更新の必要もあり、全てにおいて確認するのは困難なため、昨年の更新を持って日付の更新は休止している。システム的には該当する年の日付がなければ、汎用的な表示になるため問題はない。また、内部的に日付が計算可能な祭りもあるが基本的に行わない。



図1. 浜松おまつり暦の画面キャプチャ  
(上: カレンダー表示、下: 詳細表示)

## 4. 浜松おまつりアーカイブの取り組み

本事業は、平成 28 年度・平成 29 年度に「みんなのはまつ創造プロジェクト」採択され、浜松お祭りアーカイブの作成を実施した。全点調査を実施したのは平成 28 年度の事業で、具体的な実施方法は以下のとおりである。

- (1) 浜松市の伝統的な祭りの現状調査に関する情報収集(300 件程度)
  - (2) 祭りの詳細調査(10 件程度)
  - (3) 収集した情報の電子化およびアーカイブ化
  - (4) アーカイブを公開するための Web システムの設計・実装・公開・運営
  - (5) 調査した祭りを広報する広報誌の発行と配布
- 以下、調査とデータベース化について述べる。

### 4.1 調査概要

今回の調査では、平成 26 年度の調査で収集された、525 件のうち、産業祭りや月毎で重複しているものを除いて、地域の伝統行事や伝統芸能をともなう祭りに絞り込み、計 362 件の祭りや行事を対象とした。これらの祭りについて基本情報を改めて収集すると同時に、約 20 年経った現在も開催されているか、運営面の現状や実情について調査を行った。

### 調査対象

浜松市内に存在する祭りや行事は 362 件、その内訳は、中区 11 件、東区 19 件、西区 41 件、南区 15 件、北区 63 件、浜北区 37 件、天竜区 176 件である。

### 調査方法

図 2 のように、市内各協働センターを通じ、各地域の祭りや郷土史に詳しい人物や自治会長の連絡先を紹介いただき、郵送調査を行った。また、必要に応じて、電話やメールにて追加で聞き取りを行った。

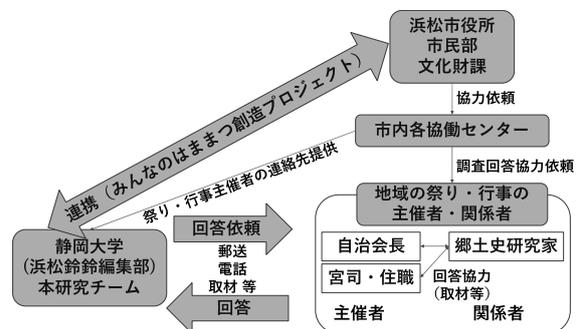


図2. 調査ネットワーク図

### 調査期間

平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

## 調査の設問

設問は、データベース構築用の祭りや行事の基本情報に関する8つ(表4)と、継承状況や後継者不足の有無、今後の開催にあたっての課題等について聞いた7つの質問(表5)で構成した。

表4. 祭りの基本情報の設問

設問No.	祭りや行事の基本情報について
1	祭り・行事の名称
2	開催日
3	開催場所
4	次回平成29年度の開催予定日
5	主催者の名称(保存会等)
6	祭り・行事の代表者のお名前・所属・連絡先(住所、電話番号、メールアドレス等連絡の取りやすいもの)
7	祭り・行事の概要
8	祭り・行事の特徴や伝統

表5. 継承状況等の設問

設問No.	祭りや行事の伝承や運営について
9	現在の祭り・行事の伝承状況を教えてください。当てはまるものに○をつけて下さい。 1.盛ん 2.順調 3.危機
10	祭り・行事の運営に関わっているおおよその人数を教えてください。 ( )人程度
11	後継者不足を感じますか、また、あればその理由も教えてください。 1.継続が危機的な状況 2.深刻な状況 3.少し心配な状況 4.後継者が十分にいる 5.その他( ) 具体的な理由( )
12	今後も祭りや行事を継続するにあたっての課題はありますか。ある場合は、その具体的な内容も教えてください。 1.ある 2.ない 具体的な内容( )
13	今後も祭りや行事を続けていくための活動を行っていますか。行っている場合は具体的な内容も教えてください。 1.行っている 2.行っていない 具体的な内容( )
14	地域の子どもを対象に祭り・行事の指導等の活動を行っていますか。 1.はい 2.いいえ 3.その他( ) あれば具体的な内容も教えてください( )
15	祭り・行事の際に使用する、手順が書かれた手引書や書籍・冊子はありますか。 1.はい 2.いいえ 3.その他( ) あればどんなものがあるか教えてください( )

## 回収状況

平成29年3月31日の時点で、回収数は297件であった。そのうち27件は、新たに見つかったもので、調査対象362件に入っていなかった祭りや行事である。回答率は郵送調査としては82%と高かった。その要因としては、協働センターという公的な機関からの依頼により、関係者に安心感を与えたためと思われる。

回収できなかった92件については、「郵送配布後に返信がなかった」「該当の祭りを知っている関係者が見つけられなかった」の2つのケースがあった。後者については、20年前の調査以降に祭り・行事が廃れてしまったか、名称や内容に変更があり、現在の祭り・行事と関連付け出来なかった可能性が考えられる。

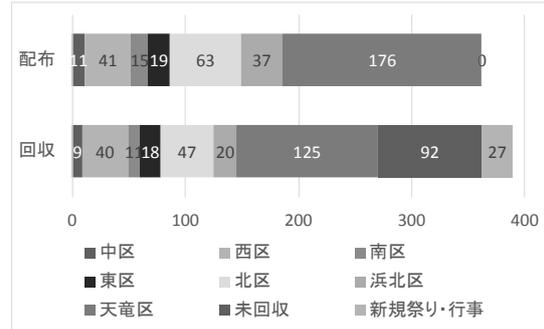


図3. 区ごとのアンケート調査の回答状況

## 4.2 データベース化

これらの調査をもとにして、Web上のデータベースを構築した[3]。図4に「浜松お祭りアーカイブ」と称したWebデータベースの画面キャプチャを掲載する。開催地を表す地図上のプロット表示とカテゴリ検索を基本とする。また、詳細表示、複数の祭りを並べて表示するお祭り比較の機能を持つ。

基本的なデータベース設計については図12と同様である。これに地図上で表示するためのGPS座標と、調査で得られた継承状況に関するデータを持っている。また、Web上では公開していないが、主催者の連絡先に関する情報、調査状況、最寄りの協働センター、アンケート時に自由記述で記載された内容についてもデータは持っている。



図4. 浜松お祭りアーカイブの画面キャプチャ (上:地図上プロット表示、下:カテゴリ検索)

## 5. 継承状況調査の結果

ここでは、継承状況に関する表5の7つの質問について、その回答結果を報告する。

### (1) 現在の祭り・行事の伝承状況について

市内全体で見ると、回答の約半数の祭りや行事において、開催されていた。しかし、前回市が行った調査以降、約20年の間に、30件の祭りや行事が開催されなくなっていた。うち29件は山間地域であった。一方、伝承状況が盛んと回答のあった祭りの多くは「大太鼓」「花火」「屋台」といった見どころがあり、観光も意識した規模の大きな祭りであることが分かった。

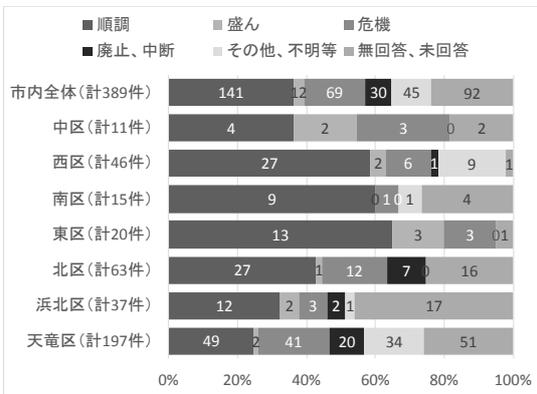


図5. 伝承状況について

### (2) 祭り・行事の運営に関わるおおよその人数

回答の割合は、10人～50人程度での運営が多いことが分かった。天竜区は他の区に比べ、10人程度以下の少人数で行われている祭りや行事が多い。これは、天竜区における運営者の高齢化と若い世代の人口減少が原因と思われる。しかし、他の情報も絡めて見ると、運営人数と伝承状況の関連は、必ずしも強くないことが分かった。規模を小さくすることで、運営人数が少なくても安定して開催を続けられるような工夫をしているところがあった。

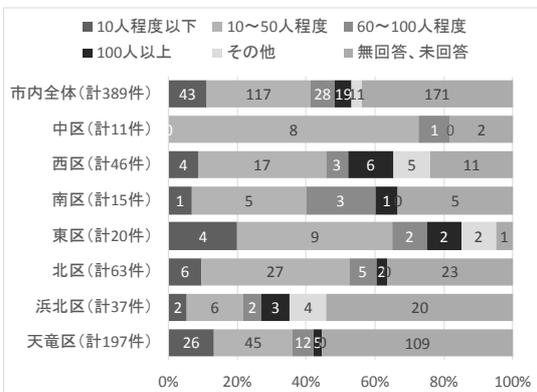


図6. 運営に関わるおおよその人数

### (3) 後継者不足の有無

全体の約7割は、多少なりとも後継者不足を感じていた。その理由として、「若者の人口減少」「運営者の高齢化により開催が困難になった」「宗教離れ」「祭りや地域の行事に対する住民の意識変化」等が多く挙げられた。

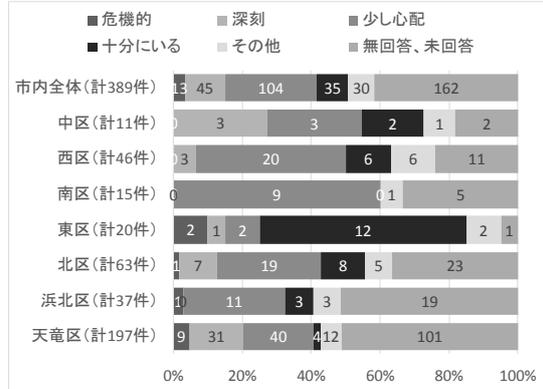


図7. 後継者不足の有無

### (4) 今後も祭りや行事を継続するうえでの課題の有無

全体で3割以上の祭りや行事について、課題はあるとの回答があった。具体的には、「若者世代の加入と後継者の発掘、育成」が多く挙げられた。他にも、開催場所へのアクセス面に対する課題も見られた。山間地域においては、車道がない山道を徒歩で行かなければならない等、高齢者の参加が減少する要因があった。

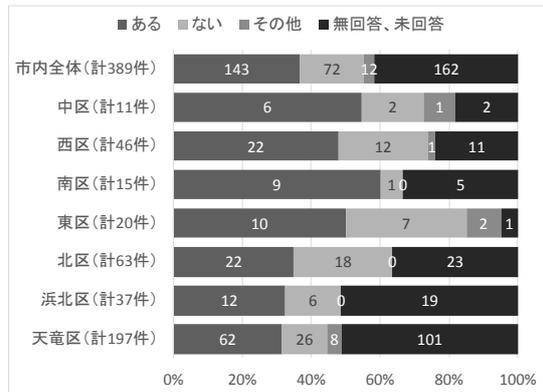


図8. 課題の有無

### (5) 今後も祭りや行事を続けていくための活動の有無

全体の約3割が、祭や行事を続けていくために何らかの活動を行っていた。例えば、内部、外部に向けた宣伝活動に力を入れる、若者世代が減っている山間地域では、地域から出ていった若者に声をかけ参加を呼びかける等があった。町外の人に協力を要請したり、運営の年齢層を上げたりすることで継続を図っている組織もあった。

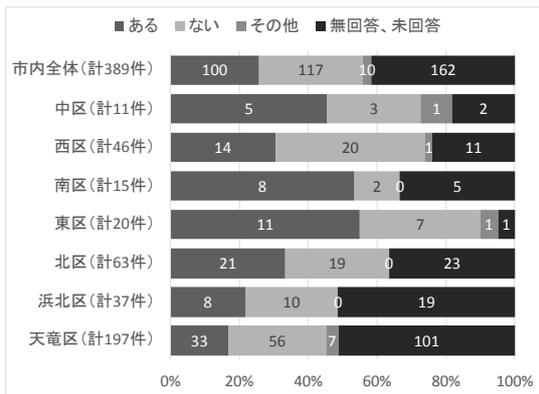


図 9. 継続のため活動の有無

### (6) 地域の子供を対象にした指導等活動の有無

全体的に指導等の活動を行っているところは多くなかった。特に少なかった浜北区、天竜区については、そもそも地域に子供がないという回答が多かった。指導等の具体的な内容は、お囃子や舞の練習を行うのがほとんどであった。中には祭事で使用する道具(松明等)の準備を手伝ってもらおうというもあった。

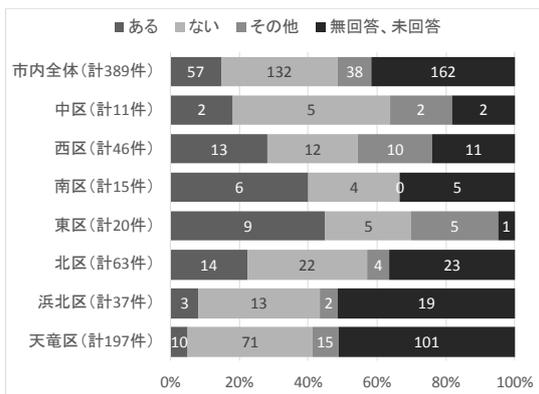


図 10. 子どもを対象にした活動の有無

### (7) 祭り・行事に使用する手引書や資料等の有無

手引書等の冊子や資料を作成し残しているところはとても少なく、天竜区、浜北区においては0という結果であった。また、あると回答のあったところについても、進行手順のみ、舞や歌についての作法についてのみで、祭り全体について記録してあるものを持っているところは、ほぼなかった。多くが、年度が変わる際に主に口頭で引き継ぎをするとのことであった。

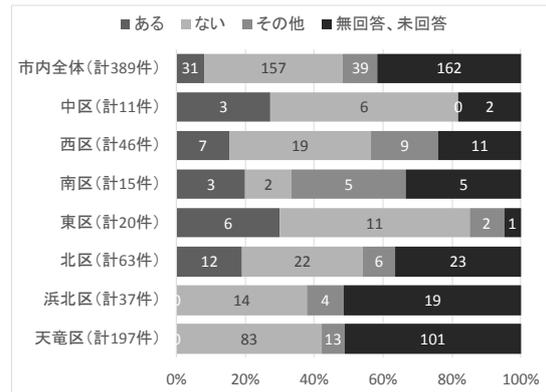


図 11. 手引き書や資料などの有無

### (8) 調査を終えて

平成 29 年 3 月 31 日の時点で、浜松市内では少なくとも 222 件の祭りや地域の行事が開催されている。しかしそのほぼ全てにおいて、高齢化、若者を主とする人口減少がうかがえる。また、祭りや地域の行事は、各地域の神社で行われることが多いが、今回の調査で神社関係者と地域住民のつながりの希薄化を感じた。近年の宗教離れの加速に伴い、祭りや神事に対する地域住民の意識も、祖先・神を祀り、祈願・感謝するものから、単なる年間行事の一つに変わってきた。それによって祭りは、神社関係者による神事と地域住民による余興とで別れ、その繋がりが弱まってきているのである。聞き取りの中で、この繋がりの希薄化を問題視し、氏子が自治会に協力を求め、結束の強化、問題の共有を行うことで、祭りの廃止の危機を脱したという意見があった。

手引書等資料のない祭りや行事が多いという調査結果は、今回のデータベース化の意義を感じた。祭りが廃れないことが一番ではあるが、たとえ廃れてしまったとしても記録に残しておくことで、後日復活出来る可能性がある。

## 6. まとめ

本報告では、浜松市における「祭り・神事・行事」についてのデータベースの構築と継承状況の調査について報告した。全点調査を目標に実施したが、まだ 3 割は現状を把握できておらず、特に、浜松市の中心部である中区については、人間関係の希薄化で、市役所からのトップダウン的な調査では、(すでに途絶えている可能性もあるが)市民レベルで残されている行事などは確認できていない。市民レベルのネットワークや足を使った調査を必要としている。また、神社などで独自に(もしくは秘事として)行っている祭りや神事もあり、その点についてもトップダウン的な調査では漏れがあることが分かっている。これらについては静岡県神社庁などの協力も必要となってくる。

今回の調査で、少子化のためすでに廃止になっていたり、行事を略したり、開催時間を変えたりといった、急激な変化が起こっていることが分かった。この点についても、情報として残していくアーカイブ化が強く必要とされている。

## 謝辞

調査および取材にご協力賜りました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。本報告に関連するプロジェクトを推進してくれた、研究室の学生諸君らに感謝する。本研究の一部は科研費基盤研究(C)15K01147の助成を受けたものである。本研究は浜松市の平成28年度・平成29年度の「みんなのはままつ創造プロジェクト」の補助を受けたものである。

## 参考文献

- [1] 浜松市例規集,「浜松市民俗芸能の継承及び振興に関する条例」,[http://www1.g-reiki.net/hamamatsu/reiki\\_honbun/o700RG00001696.html](http://www1.g-reiki.net/hamamatsu/reiki_honbun/o700RG00001696.html), (参照 2018-02-09).
- [2] 静岡大学情報学部杉山岳弘研究室,「浜松おまつり暦」, <http://www.hama365.info/matsuri/>, (参照 2018-02-09).
- [3] 静岡大学情報学部杉山岳弘研究室,「浜松お祭りアーカイブ」, <http://www.hama365.info/archive/>, (参照 2018-02-09).
- [4] 村井梨乃,「浜松市北部の伝統的祭りにおける継承に関する取り組みの調査」,2016年度卒業論文,静岡大学情報学部情報社会学科 (2017)
- [5] 2015年4月18日 中日新聞 18版「浜松の祭り 有名無名 525件 静大生ら写真、動画で紹介」
- [6] 2015年4月18日 静岡新聞 県内総合(22)「浜松の祭り ウェブで発信 カレンダー形式 525件 静大生が取材、開設」

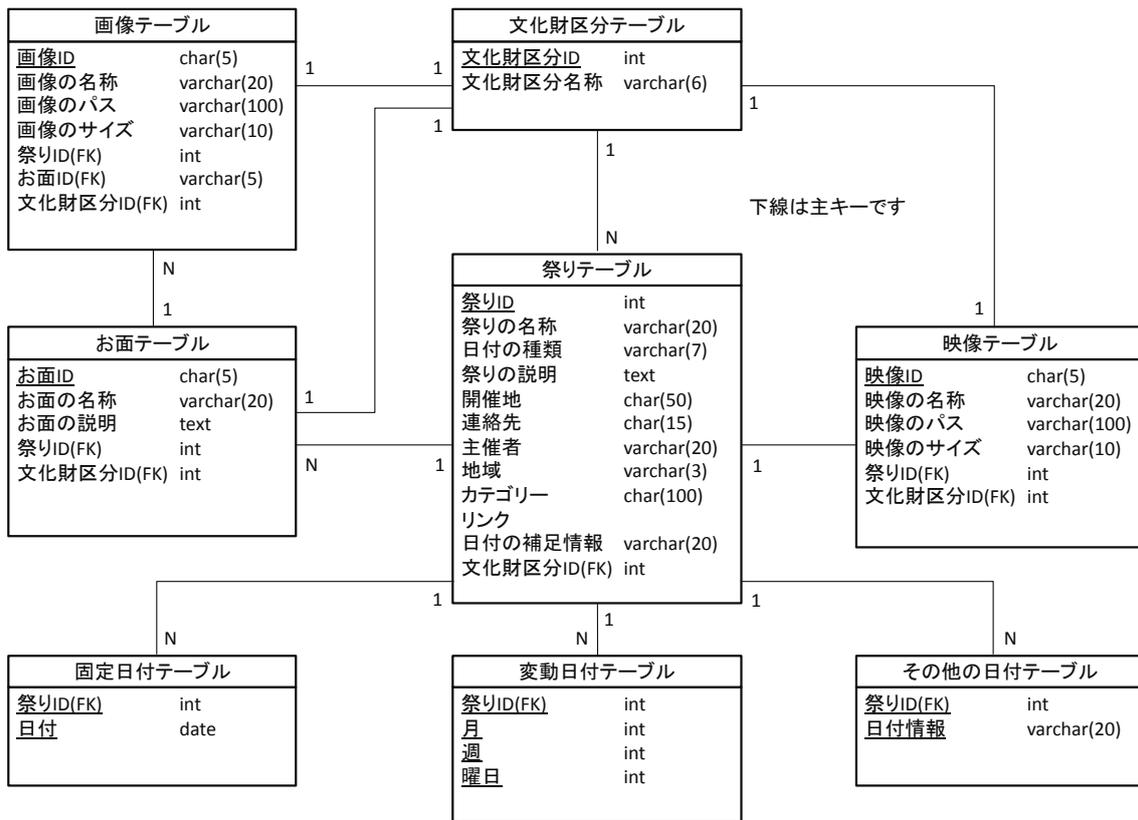


図 12. 浜松おまつり暦 (Web カレンダー) のデータベースの ER 図